

## Diversity Voyage お申込時の注意事項

本プログラム申込みにあたり、①募集要項、②本紙に掲載された情報、並びに③「東洋洋大学国際教育センター短期留学誓約書」を確認し、保証人の方ともよく相談の上、応募してください。

### 1.参加費について

記載の費用は2026年3月の為替レートをもとに算出しております。外貨建てのものが含まれるため、為替レートの変動により費用は変更となる可能性があります。また、往復渡航費用(諸税、燃油サーチャージ含む)も流動的であることをご承知おきください。

#### <参加費に含まれるもの>

研修費、現地までの往復渡航費用(諸税、燃油サーチャージ含む)、現地宿泊費、プログラムでカバーされる食費(朝、昼、夕)、現地での移動費、手数料

#### <参加費に含まれないもの>

渡航に関し、出入国の手続きに必要な費用・書類作成にかかる費用(パスポートやビザ、観光税等)、大学指定の海外旅行保険料・危機管理サービス費用(別途案内、6,000円程度)、自宅から発着空港までの交通費、プログラム内でカバーされない食費、通信費、お土産代等

参加決定後、約1週間で前払い金(参加費の一部)50,000円をお振込み頂きます。残金は2026年6月下旬のご請求となる予定です。

### 2.プログラム参加のキャンセルについて

本プログラムの参加者として決定した後は、原則として辞退はできません。やむを得ない事情によりキャンセルをする場合は、理由を明記の上、メールにて参加辞退の意思を当社(GiFT)へお知らせください。メールアドレス:diversityvoyage@j-gift.org

### 3.取消料について

キャンセルのご連絡を受けた日(土日・祝日の場合は、次の営業日)に合わせてキャンセル費用を算出し、キャンセル費用についてのご案内をいたします。

#### <渡航に関する旅行契約の解除>

キャンセル費	マレーシア・クチンコース	ラオス・ビエンチャンコース
50,000円	参加確定手続き後～7/19	参加確定手続き後～7/31
100,000円	7/20～7/29	8/1～8/10
参加費の70%	7/30～8/27	8/11～9/8
参加費の100%	8/28(出発日当日) または無連絡の不参加の場合	9/9(出発日当日) または無連絡の不参加の場合

- ・ キャンセル費が前払い金で先にお振込いただいた金額内であれば、その中から精算、それ以上になる場合には、当社から追加のご請求をさせていただきます。
- ・ 感染症罹患を含め、やむを得ない事情で自己都合により参加を辞退する場合、東洋大学が本プログラムの実施の中止判断をした場合も、本プログラムにかかる費用や渡航費及び滞在費の取消料等が発生します。  
外務省危険情報でレベル2以上となった場合、大学主催プログラムは催行中止(渡航禁止)といたします。

#### 4. その他注意事項

- ・ 本プログラムにおいて、自己都合による旅程の変更(滞在日時の変更、発着地の変更等)は一切認められません。
- ・ プログラムによる渡航期間中、本プログラムで予定されていない外出はできません。
- ・ 渡航先地域の天候・安全性の諸事情により、旅程に変更が生じる場合があります。
- ・ 最少催行人数に達しない場合はプログラムは実施されません。
- ・ 留学先国がビザの取得を求める場合、ご自身でビザを取得する必要があります。
- ・ 帰国前に感染症罹患が疑われるような症状を発症した場合、渡航先国・地域の保険局等の指示に従い、隔離措置や帰国の延期が命じられる場合があります。また、その際の追加滞在や復路航空券変更においては費用に自己負担が生じる可能性があります。
- ・ 感染症への罹患の有無を問わず、日本出発時および帰国時の最新の出入国規定に従って手続きを進めることをご了承ください。

#### 5. プログラム期間中の写真・動画について

- ・ プログラム期間中の写真については、参加者のプライバシーに配慮し、プログラム主催団体が撮影、共有した写真・動画や、本人同士で承諾を得た写真を除いて、インターネット(SNS 含む)にアップロードしないでください。

#### 6. 個人情報の取扱いについて

- ・ プログラム実施中にプログラム実施機関(GiFT)が撮影、録画、録音等をした個人情報(集合写真、個人写真、成果物など)をプログラム運営、広報の目的ために東洋大学およびプログラム実施機関が使用する場合があります。
- ・ 提出書類に含まれる個人情報を、今後東洋大学およびプログラム実施機関が主催するイベントの案内、イベント催行に際しての協力の要請や参加依頼、または体験者談の執筆依頼などのために利用する場合があります。
- ・ 発生する事態への適切な対応を行う目的で、東洋大学とプログラム実施機関との間で、参加者の個人情報が共有される場合があります。

以上